

2012年1月10日

各位

株式会社 マイクロン

**PETを用いた癌幹細胞のバイオマーカー測定、診断、治療薬開発に係る
共同研究開始に関するお知らせ**

株式会社マイクロン（本社：神戸市中央区、代表取締役社長：佐藤誠）は、横浜市立大学医学部との間で、PETを用いた癌幹細胞のバイオマーカー測定、診断、治療薬開発に関する共同研究を開始いたしましたのでお知らせします。

弊社は、PET (Positron Emission Tomography; ポジトロン断層法)、CT (Computed Tomography; コンピューター断層撮影法)、MRI (Magnetic Resonance Imaging; 核磁気共鳴画像法)といったイメージング技術を用いた臨床試験を総合的に支援するとともに、PET薬剤（トレーサー）の合成やサル・ラット・マウスなどを用いた動物PET試験といった非臨床分野における研究開発支援を行っております。

弊社では、特にPETを用いた診断および医薬品の開発支援や研究開発に注力しておりますが、癌は、その主要な対象疾患のひとつであります。近年、哺乳類などの多細胞生物には、各臓器に幹細胞が存在することが確認され、ほとんど全ての臓器において幹細胞システムの組織構築が明らかになってまいりました。さらに、癌組織においても、もとの組織構造と同様、癌幹細胞が存在し、それが通常の癌細胞を供給しながら、癌組織を維持している可能性が指摘されています。従って、抗がん剤や放射線治療の開発においては、通常の癌細胞だけでなく、癌幹細胞に対する有効性が重要であり、それらの開発において、組織ごとの癌幹細胞を用いた評価は、必須になってくるものと考えられています。

このような背景のもと、横浜市立大学医学部の梁教授らのグループは、通常の癌細胞株に各種の遺伝子を導入することにより、癌幹細胞の特徴を持つ細胞株を作製する技術を確立しています。本技術は、癌幹細胞のバイオマーカー探索、癌の早期または再発診断法の確立、さらには癌治療に有効な抗体医薬の開発などに寄与するものと考えられます。

この度、弊社は、横浜市立大学と共同で、癌幹細胞の表面分子マーカーの解析、これらに対する特異的なモノクローナル抗体の作製、抗体のPET化によるバイオマーカーとしての有用性の検討、PETによる新規癌診断法の確立ならびに抗体医薬の開発など、一連の研究を開始することといたしました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マイクロン

担当者 : 研究開発部 広瀬国孝 TEL : 03-6225-2555

E-mail : info@micron-kobe.com

会社 URL : <http://www.micron-kobe.com/>